



# SBSビジネスレポート

2017年12月期 第2四半期株主通信

2017年1月1日~2017年6月30日 証券コード:2384

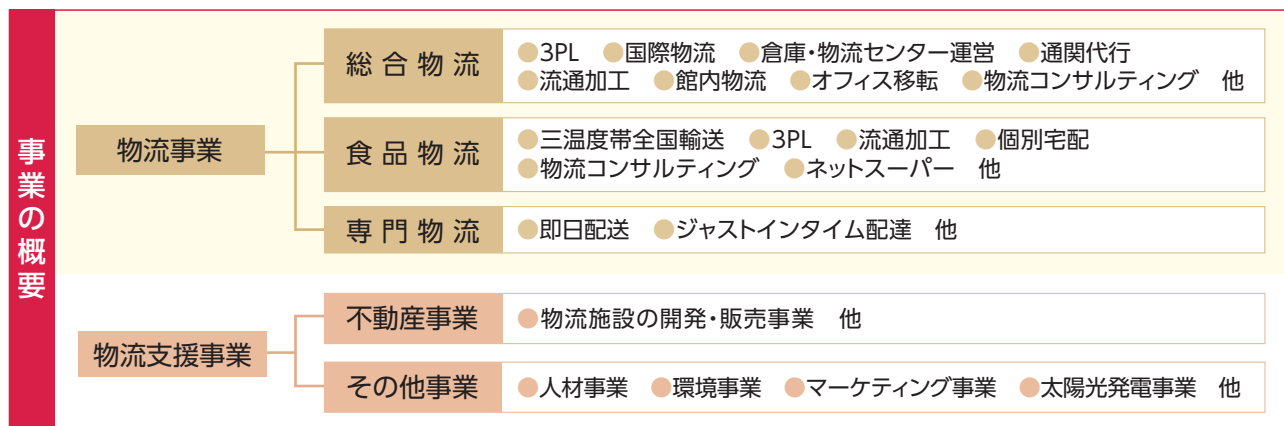
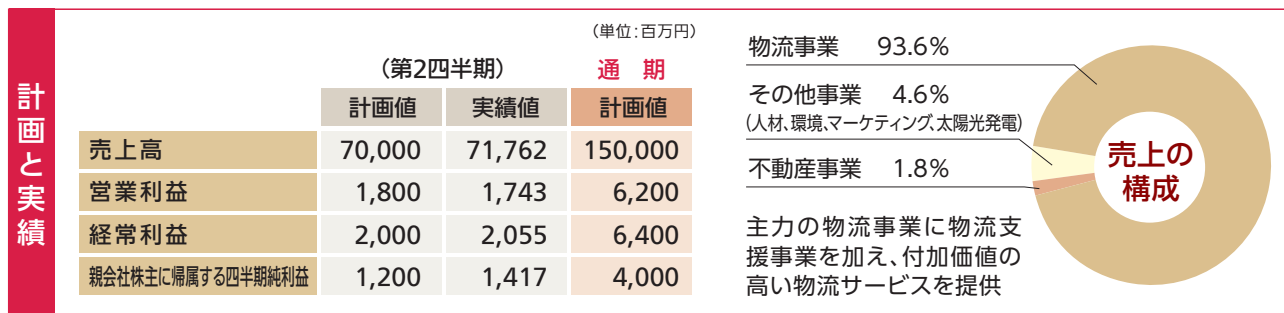
## 特集

現場から広がる、多様な働き方

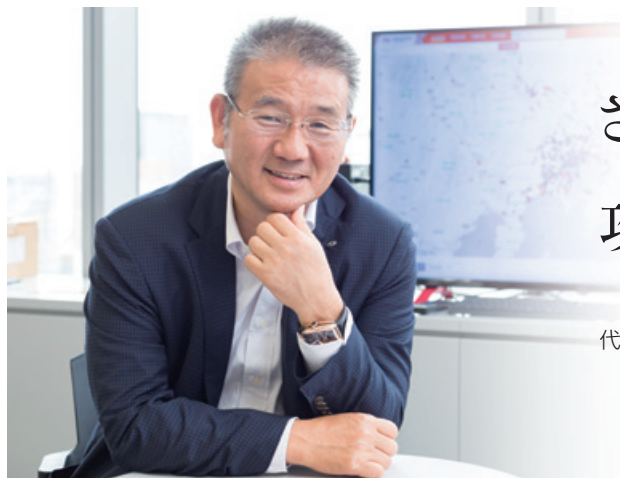
## INDEX

ビジネスハイライト	01
社長メッセージ	02
特集	03
ハイライト	05
トピックス	06
連結業績	07
会社概要&株式の状況	10

## SBSグループは、あらゆる物流ニーズに優れた品質でお応えします



※ 本レポートの将来の見通しに係わる記述には、現時点で入手可能な情報に加え一部将来の業績に影響を与える不確定な要素も含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。



## さらなる飛躍のために、 攻守とも注力いたしました

代表取締役社長 鎌田 正彦

2017年12月期上半期におけるSBSグループは、取り組み課題の大きな柱として、前期に立ち上げた過去最大規模の新規拠点運営のさらなる効率化と、新規3PL案件の獲得を掲げました。グループ一丸となりこれらに取り組んだ結果、業績につきましては期初の計画とほぼ同じペースで進捗いたしました。

物流事業においては、前期に立ち上げた合計5万坪の物流拠点の運営安定化と効率化を進めるとともに、アパレル、酒類・食品等の輸入販売、ペットフード製造・販売、レンタルサービス業など新規のお客様の現場も順調に稼働させることができました。また、都心部で展開する大手EC通販向け宅配サービスでは、グループ横断的な人材再配置や、多様な働き方に合わせたサポート体制を充実することで人材を確保し、急増する需要に対応いたしました。

不動産事業では、季節的な要因からテナントの入替えが発生し一時的に賃料が減少したものの、現在

は満床稼働しております。また、前期では上期に実行した物流施設売却は、下期の実行に向けて着実に準備を進めております。

その他事業は、依然としてEC市場が急拡大を続けていることを受け、マーケティング事業が引き続き成長したほか、太陽光発電事業も計画通りに売上・利益ともに伸長しております。

昨今の物流業界では、EC市場の急成長による消費構造の変化や、ドライバー・現場作業員を中心とした人手不足など、深刻な経営課題が山積しております。また、各国の不安定な政局から経済の先行き不安感が増すなど、きわめて複雑な経営環境下にあります。しかしながら、このような環境だからこそ「物流を改革する」SBSグループのソリューションに、付加価値が生まれると確信し、挑戦を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、SBSグループを今後も末永くご支援賜りますようお願い申し上げます。

# 現場から広がる、 多様な働き方

SBSグループは、各グループ会社がそれぞれ特色ある物流サービスを展開しており、これら物流現場を支える多くの従業員たちの「働き方」を、独自の制度を設けてサポートしています。今回はその一部をご紹介します。



## 「新卒入社の女性宅配ドライバーが活躍中！」

SBSゼンツウ株式会社

SBSゼンツウは、全国の生協組合員様のお宅へ商品をお届けするドライバー職として、2014年から新規学卒者の採用を始めました。少子高齢化が急速に進行し一人暮らしの高齢者が増える中で、同社の宅配ドライバーには、見守りや日常生活の簡単な介助など、細やかな気配りと臨機応変な対応力が求められるようになってきています。

学生時代は体育会陸上部に所属し4年生の秋の公式戦までやりきってから就活を始めて、数社から内定をいただきました。体を動かすことや人とのコミュニケーションが好きな自分には合っていると思い、SBSゼンツウの宅配ドライバー職として頑張っていこうと決めました。現場では、トラックに商品を積み込むときに、男性ドライバーとペアになって重い商品の荷積みをサポートしてもらいますが、1日あたり約50件の配達は一人でを行っています。

SBSゼンツウ全体で、女性ドライバーは74名います。全ドライバーの約5-6%と、まだ少数派ですが女性だけの会議があり、公私を問わず様々な情報共有をしています。私たちが結婚や出産を経て仕事を続けていくことで、後輩の女性ドライバーがどんどん増えていくといいな、と思っています。

今は、性別関係なく興味を持った仕事を選択できるとてもいい時代だと思います。女性だからといって、好きでもない事務職でつらいストレスを抱えたり、逆に好きな運転や体を動かす仕事をあきらめていたとしたら、それはとてももったいないことですね。



生活物流部門  
宅配第1事業部  
宅配第1エリア 東都宅配  
やまもと みずき  
山本 瑞 配達員  
(2016年入社)

## 一人ひとりの人生に合わせた「働き方」を実現するために

当グループは、グループ各社の個性を活かすことでグループシナジーを追求しており、このことが自然に一人ひとりの個性や人生を尊重する姿勢につながっています。人材不足は、当グループにとっても深刻な問題ですが、各社独自の「働きやすい」仕組みを構築し「あきらめない」運用で、この厳しい経営環境に対処しています。ご縁があってSBSグループで働く皆さんが、年齢・性別・国籍・学歴等に捉われずオンリーワンの職業人生を歩んでいただくことが、当グループの企業価値向上の源泉であると信じています。

SBSホールディングス株式会社 取締役 泰地正人



## 「パート社員の様々なニーズに配慮した『選べる勤務形態』」

日本レコードセンター株式会社

日本レコードセンターは、音楽や映像媒体などのパッケージソフトやネット通販など「多品種小ロット」の3PLを得意分野としています。短時間かつ正確に細かい商品のピッキングや仕分けを行う熟練のパート社員は、とても大切な存在です。一人ひとりのパートさんにできるだけ長く勤務していただく仕組みとして「選べる勤務形態」を運用しています。

当社は、貴重な戦力として活躍して下さるパート社員の皆さんに、多様な勤務形態からご自身に合った働き方を入社時に選択していただいています。たとえば「子供が低学年だから、子供を見送ってから帰宅するまでの時間帯で働きたい」と、10時-14時勤務を選択した方が、数年経って「子供の手が離れてきたから、もう少し収入を増やしたい」という希望に変化したときは9時-16時の勤務へ変更するなど、可能な限りご要望に応えるようにしています。現場の調整や、社会保険関係の手



人事総務部 下村 美穂

続きなどは複雑になりますが、それよりも優秀なパート社員さんたちに、気持ちよく長く勤めていただくことのほうが大切です。

また、夏休みにはお子さんが参加できる職場見学会、著名人をお招きしての絵手紙教室、パワーウォーキング講習会などの地域の方にも参加いただけるイベントを定期開催しています。このような取り組みを通じて、パート社員の皆さんを地域社会の一員として応援していきたいと考えています。



## OJTサイクルを通じて若年社員を早期戦力化 SBSロジコム株式会社 所沢物流センター支店



《SBSロジコム(株)所沢物流センター支店》  
大手百貨店様の専用センターです(2016年3月稼働)

当社グループのSBSロジコムは、10年ほど前から支店単位で高卒採用を積極的に推進。人材不足問題に対応しながら若年社員を短期間で戦力化することで、現場管理者不足問題に対応しています。今回は、所沢物流センター支店の支店長と3人の現場監督者のインタビューからその取り組みをご紹介します。

### 様々な経歴の社員同士が切磋琢磨することが、 業績向上につながる

当社は社員不足問題が顕在化するなか、高卒採用を積極的に推進してきました。支店単位での採用というユニークな形式ですが、彼等は重要な戦力として成長しています。大卒で配属された



支店長 小柳 顕

社員と、切磋琢磨しながら貪欲に仕事に取り組む姿勢から相乗効果が生まれ、支店の業績向上に寄与しています。今後もやる気と実績のある若手社員は、積極的に重要ポストに登用していく方針です。若手社員は、失敗を恐れずチャレンジして欲しいと思います。

### 後輩社員の目標になる存在になりたい

私は構内業務に関心があり、当社の別の支店に11年前に高卒で入社しました。現在は、アパレルから雑貨まで幅広い商品と作業員の管理を行っています。数年前に現場職から事務職(総合職)に職種転換しましたが、その時、上司から推薦してもらった



センター長 木前 昌

ことがとても嬉しかったです。今でもその期待に応え恩返しをしたいと考えています。高卒でも仕事を通じて成長し続けるモデルとなり、後輩社員の目標になる存在であるよう努力していきたいと考えています。

### 自分が支えられてきたように、後輩を支えていきたい

様々な商品を扱うと共にビジネスの裏側を知ることが出来る仕事として物流に興味を持ち入社しました。現在は管理職として、中核となる社員と約150名のパートやアルバイトの方を指揮し、人員や車両の手配等を行っています。私はとても苦しい



課長 吉野 大輔

時に、現場の先輩からの確かな指導や様々な配慮で支えてもらった経験から、後輩の若手社員にも同じようにサポートをしていきたいと考えています。将来は支店長や所長、また本社の管理職等、様々な職種を経験したいです。

### 人をまとめる責任ある仕事にやりがいを感じています

入社4年目です。大学で4年間を過ごすより社会人として経験を積みたいと思い就職を選びました。SBSロジコムに入社したのは、会社見学でアパレルの保管や商品管理に興味を持ったからです。業務では、商品をお客様のリクエストどおりに出荷するために、パート社員に指示を出し、配送の手配を行っています。入社して数年



社員 吉田 泰樹

で、人をまとめる責任ある仕事を任せてもらえるようになり、とてもやりがいを感じていますが、コミュニケーション能力や標準化スキームの構築など、勉強すべきことがまだ沢山あります。将来はセンター長や支店長を目指していきたいです。

書籍で  
紹介され  
ました!



「高卒採用は宝の山」 森部 良樹/日経BP社 2017年8月

新規高卒社員が活躍している企業事例として、支店長の小柳と吉田社員のインタビューが掲載されました。ぜひご一読ください。



## 物流業界誌の総合ランキングで 1位を獲得

2月

(SBSロジコム)

物流業界誌「月刊 ロジスティクス・ビジネス」は毎年、物流企業の売上高上位2,000社を対象に、各社の「成長性」「収益性」「安定性」を評価、その実力を分析してランキング形式で発表しており、今年はSBSロジコムが総合ランキング第1位となりました。



## 茨城物流センター(仮称)の 建設地鎮祭を実施

5月

(SBSフレック)

3温度帯に対応した物流センターとして、茨城県稲敷郡阿見町に建設する茨城物流センター(仮称)は来年4月の竣工予定です。工事の安全を祈願し、阿見町や当社グループ関係者をはじめ多くの来賓の方と共に、地鎮祭を執り行いました。



## 中部国際空港出張所の開設で、 中部地区に初進出

3月

(SBSグローバルネットワーク)

SBSグローバルネットワークは、航空や海上で日本と諸外国を往来する国際貨物のフォワーディングサービスや通関サービスを提供しています。中部国際空港セントレア地区内に出張所を開設することで、中部地区での国際貨物サービスを拡充します。



## 名古屋に配車センター併設の 3PL拠点を開設

6月

(SBSフレイトサービス)

グループにおいて広域物流を手がけるSBSフレイトサービスは、名古屋市南区に「名古屋センター」を開設し、中京地区において3PLサービスを開始。ペットフード製造・販売企業様向けとして、地域に根差した高品質な3PL拠点を目指します。



## グループ従業員向けに 第1回救急救命講習を実施

4月

(SBSホールディングス)

SBSグループは、「職場・家庭など身近に発生した傷病者の命を守る」をテーマに、従業員向けに心肺蘇生とAED(自動体外式除細動器)使用を中心とした救急救命講習を実施。有事に際し、社員自身が適切な行動をとるための知識と技能の習得を目指します。



## 長野県 トラックドライバー・コンテストで優勝

7月

(SBSフレックネット)

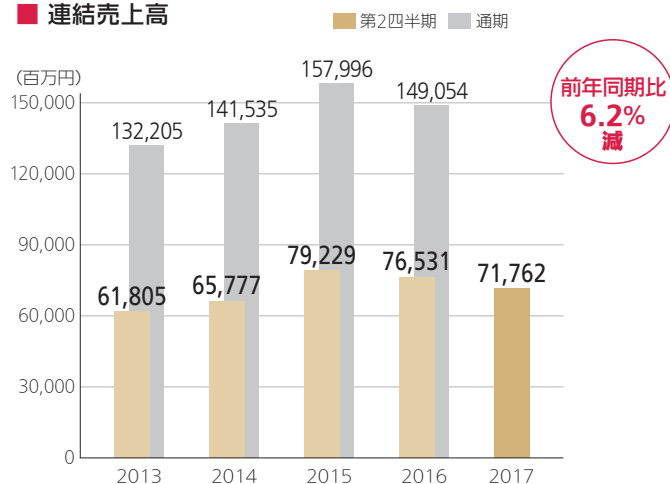
長野県トラック協会は、運転技能及び整備点検技術の向上やドライバーの社会的責務の自覚等を目的に「長野県トラックドライバー・コンテスト」を開催。23回目となる今年は、SBSフレックネットの子会社である古越物産のドライバー2名が優勝しました。



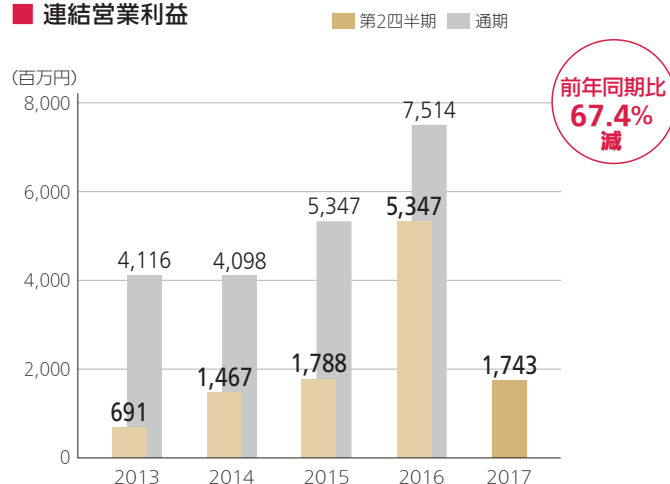
## 第2四半期の連結業績

前連結会計年度に拡大した物流拠点の安定稼働と新規3PL案件の獲得を推し進め、中期経営計画「SBS Growth 2017」の達成に向けグループ一丸となって事業に取り組みました。これらの結果、物流事業では増収増益となった一方、前年同期に行った物流不動産流動化を当第2四半期では行わなかったことから不動産事業の業績が大きく減少し、トータルで減収減益となりました。

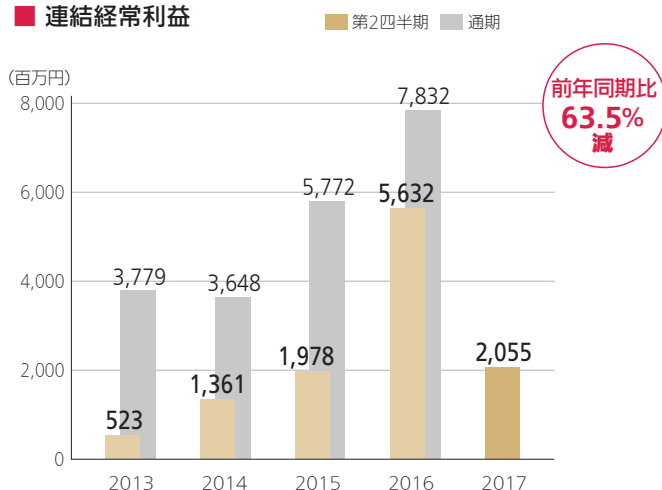
### ■ 連結売上高



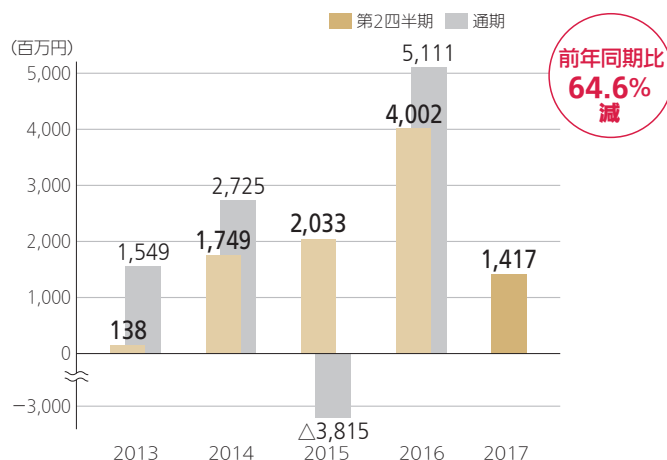
### ■ 連結営業利益



### ■ 連結経常利益



### ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益



※当連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」及び「持分取用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」を早期適用しており前年同期比較についてはこれらを避及適用した前年同期の数値を用いております。



[セグメント別概要]

(単位:百万円)

	2017年第2四半期		2016年第2四半期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
物流事業	67,153	928	64,562	916
不動産事業	1,302	653	8,935	4,390
その他事業	3,306	229	3,034	172
調整後合計	71,762	1,743	76,531	5,347

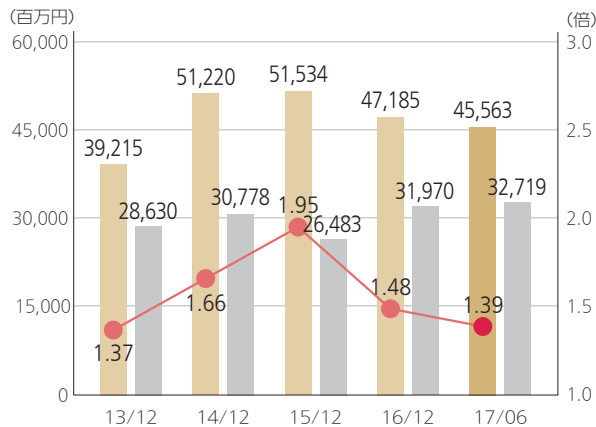
● **物流事業**：物流事業の売上高は、前期に行った業務拡大と当期新たに獲得し立ち上げた案件が加わり大きく増加しました。前期に稼働した案件の効率化や既存案件の値上げなどの効果がありました。営業利益は、新規立ち上げ時の採用に伴う人件費や備車費の増加、車両や設備の入替等によりリース料・減価償却費が増加するなどして微増となりました。

● **不動産事業**：賃貸事業にテナントの入替による一時的な空室期間が発生しました。開発事業では、大型物件の売却があった前年同期の反動から大きく減収減益となりました。

● **その他事業**：マーケティング事業が堅調に推移したこと、太陽光発電・人材事業が安定的に貢献したことから増収増益となりました。

■ ネット有利子負債／株主資本／ネットDEレシオ(右軸)

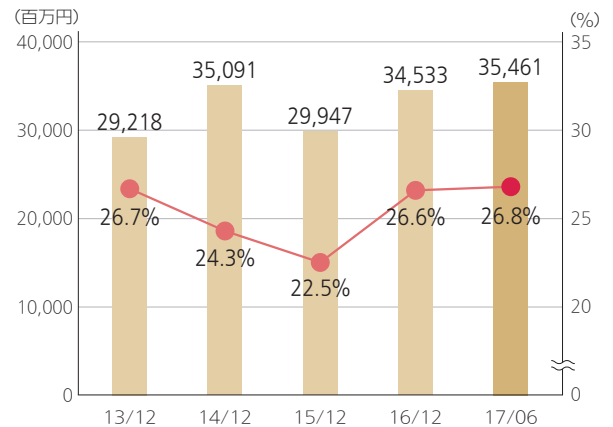
■ ネット有利子負債 ■ 株主資本 ● ネットDEレシオ



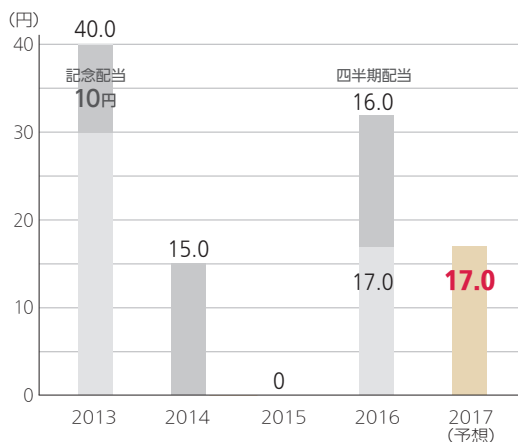
※ネット有利子負債＝長期・短期借入金＋社債－現預金  
 ※ネットDEレシオ＝ネット有利子負債÷株主資本

■ 純資産／自己資本比率

■ 純資産 ● 自己資本比率



## ■ 配当金の推移



※2014年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。  
 ※2013年の記念配当は、東京証券取引所市場第一部への上場を記念して実施したものです。

## ■ 利益配分に関する基本方針

SBSグループは、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策のひとつと位置付け、より強固な経営基盤の構築のために内部留保の充実を図るとともに、継続的な配当維持と業績に応じた配当水準の向上に努めることを、利益配分に関する基本方針としています。

2017年12月期の期末配当につきましては、1株当たりの配当金17円を予定しております。

## 来期 (2017年12月期) の連結業績予想

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (Forecast)

**売上高**
**150,000** 百万円

 前期比  
**0.6%増**
**営業利益**
**6,200** 百万円

 前期比  
**17.5%減**
**経常利益**
**6,400** 百万円

 前期比  
**18.4%減**
**親会社株主に帰属する当期純利益**
**4,000** 百万円

 前期比  
**21.8%減**

## ■ セグメント別

(単位:百万円)

	物 流	不 動 産	そ の 他	調 整 後 合 計
売 上 高	136,500	6,800	6,700	150,000
増減率	3.0%	△33.8%	6.5%	0.6%
営 業 利 益	2,500	3,600	350	6,200
増減率	10.3%	△29.5%	9.0%	△17.5%
営 業 利 益 率	1.8%	52.9%	5.2%	4.1%

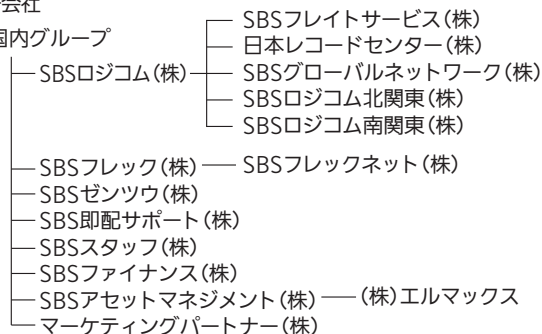
## ■会社概要

社名 SBSホールディングス株式会社  
 代表取締役 鎌田 正彦  
 創立 1987年12月16日  
 資本金 39億1,821万円  
 売上高 1,490億円(連結) ※2016年12月31日  
 所在地 〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3  
 TEL:03-3829-2222(代表)  
 FAX:03-3829-2822

事業内容 物流事業、不動産事業、マーケティング事業、人材事業 他

### 連結子会社

#### ■国内グループ



#### ■海外グループ

— SBS Logistics Singapore Pte. Ltd.(アジア統括会社)

## ■役員

代表取締役 鎌田 正彦  
 常務取締役 入山 賢一  
 取締役 泰地 正人  
 取締役 佐藤 佳嗣  
 取締役 岩崎 二郎  
 取締役 関本 哲也  
 常勤監査役 山下 泰博  
 監査役 正松本 重孝  
 監査役 竹田 正人

※取締役のうち、岩崎二郎、関本哲也は社外取締役です。

※監査役のうち、正松本重孝、竹田正人は社外監査役です。

## ■株式の状況

発行可能株式総数 154,705,200株  
 発行済株式の総数 39,718,200株  
 単元株制度の有無 有(100株)  
 株主数 4,650名

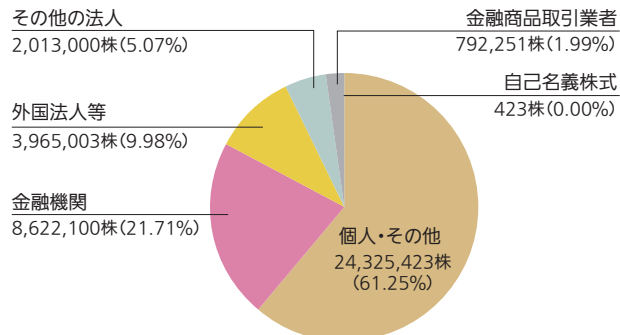
## ■大株主の状況

株主名	持株数	持株比率(%)
鎌田正彦	14,888,400	37.48%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,954,500	9.95%
SBSホールディングス従業員持株会	1,529,400	3.85%
特定有価証券信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	1,200,000	3.02%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,107,800	2.78%
東武プロパティーズ株式会社	954,800	2.40%
大内純一	875,000	2.20%
GOVERNMENT OF NORWAY	823,300	2.07%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	675,000	1.69%
株式会社スリーホールディングス	422,000	1.06%

※発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、少数第3位を切り捨てて表示しております。

## ■所有者別株式分布状況

(発行済株式総数: 39,718,200株)



## 株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎年3月開催

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公 告 方 法 公告掲載URL <http://www.sbs-group.co.jp/>

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に  
公告いたします。

### 【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。